

(様式1)

令和7年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 025	提案機関名 神奈川県園芸協会
要望問題名 パンジーの高温対策技術の開発	
要望問題の内容【背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 県内のパンジー、ビオラ栽培において、は種から育苗期間前半にあたる夏秋期の高温化による生育停滞や奇形株の発生が問題となっている。降温対策としては、極細霧のドライミスト、セルトレイ、ポットの培地冷却、わい化剤の利用等が考えられる。これらの効果を、処理終了時から、出荷時、観賞時まで生育、品質を調査することにより示していただきたい。	
解決希望年限	①1年以内 ☒ ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	☒ ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	神奈川県農業技術センター	担当部所	生産技術部
対応区分	①実施 ②実施中 ☒ ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合)			
対応の内容等 パンジー・ビオラ栽培では、夏秋期の高温による生育不良や奇形株の発生が増えており、高温対策はより重要な課題と認識していますが、当所で栽培している8月中旬播種の作型では、大きな生育の遅れや奇形株は発生していません。今後、生産現場における生育遅延等の発生状況を踏まえた上で試験研究課題化を検討します。			
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			